

令和3年松本市議会第2回臨時会
市長提案説明

[3.7.21(水) AM10:00]

令和3年松本市議会第2回臨時会を招集しましたところ、議員の皆様全員に出席をいただき、厚く御礼を申し上げます。

新型コロナウイルスへの対応は、感染拡大から1年5か月が経過し、大きな節目を迎えようとしています。治療にあたる医療従事者や介護事業の関係者に続いて、重症化リスクの大きい高齢者に対するワクチン接種が、今月末までにほぼ完了する見通しです。

これにより、医療崩壊につながる深刻な事態が抑制され、来月以降は、文字通りコロナと共存して、社会や経済を正常に近づけていく段階に入ります。

目下の課題は、60代前半以下に対する計画的なワクチン接種です。河野担当大臣は、9月末までに、希望する国民全員に行き渡る量のワクチンの供給を確約できると述べています。

松本市としては、引き続き感染防止措置を徹底し、若い世代を中心とするデルタ株の感染拡大を抑えながら、来月半ば以降、順次、60代前半、50代、40代、30代、20代以下に接種を進め、11月末を目途に希望する市民全体への接種を完了できるよう、着実に取り組んでまいります。

社会や経済の正常化を見据え、FDA＝フジドリームエアラインズが、信州まつもと空港発着の神戸線を8月27日から1日2往復に増便することになりました。

コロナ感染の影響で、航空業界が厳しい経営環境に置かれている中、アフターコロナを先取りする形で複便化に踏み

出したF D A首脳陣の経営判断に、改めて敬意を表します。

既に先週の経済文教委員協議会で協議していただいた通り、松本市としては、神戸線の利用促進に向けて、松本城やパルコ de 美術館の入場無料化や、上高地へのタクシー運賃の助成などを行い、関西圏から松本市への誘客キャンペーンを展開していきます。

松本市内を走る路線バスを将来にわたって持続的に運行していくため、「公設民営」型公共交通の導入に向けた協議を開始しました。

バスの運行については、これまでアルピコ交通株式会社が主要な役割を担ってきましたが、構造的な利用者の減少に、コロナ禍が重なり、民間事業者の経営努力だけでは、利便性の高いバス事業の継続が困難な局面を迎えています。

こうした状況の下、市民の日常生活に欠かせない移動手段を持続的に確保していくためには、制度設計や運行管理などに対し、これまで以上に松本市の公的な関与を強めることが必要だと考えています。

運行制度や事業スキームの設計、地域特性に応じた路線網の再編などについて、調査検討を委託した「経営共創基盤」の皆さんと協議を重ね、今年度末を目途に、公民連携による新たな交通ネットワークの枠組みを取りまとめていきます。

明後日23日、東京2020オリンピック・パラリンピックが開幕します。4年に一度のスポーツの祭典が、コロナの流行によって延期を余儀なくされ、紆余曲折を経て、開催にこぎつけました。

松本市からは、2人の選手が出場を予定しています。

マウンテンバイク競技の山本幸平選手は、全日本選手権で12回優勝している日本の第一人者で、松本市に居を構えて活動を続けてきました。4回目となる今回のオリンピックを競技人生の集大成と位置付け、この種目で日本人初の入賞を目指しています。

もう1人の、陸上男子400mリレーの代表に選ばれた、デーデー・ブルーノ選手は、松本市出身で、筑摩野中学校、創造学園高校1年までサッカー部に所属した、異色の短距離ランナーです。

先月の陸上日本選手権、100m・200mで共に2位となり、急成長で一躍リレー要員の座を手に入れました。出場できた場合はアンカーとして走ることが期待されています。松本市出身のランナーが、世界最高峰の舞台でゴールテープを切る瞬間を楽しみに待ちたいと思います。

それでは、ただいま上程した議案につきまして、ご説明申しあげます。

本日提案した議案は、条例2件、財産5件、専決処分の報告1件の合計8件です。

始めに、条例については、いずれも「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の改正に伴い、所要の改正をするものです。

次に、財産については、消防ポンプ自動車等の車両の取得3件のほか、松本都市計画道路3・2・12号内環状北線整備事業用地、及び松本城南・西外堀復元事業用地の取得を、提出しています。

また、緊急を要し、地方自治法第179条の規定により、7月1日付けで専決処分しました、令和3年度一般会計補正

予算を報告申しあげています。

そのほか、議案以外のものとしましては、市長の専決処分事項の指定にかかわる報告1件を、報告しています。

以上、本日提案した議案等について説明をいたしました。よろしくご審議を賜るようお願い申しあげます。

(以 上)